京城日報
日本國

本紙定價　一箇月金壹圓
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話光（長）[illegible]番　振替京城三〇〇番

米國政府の決議

【華盛頓三十一日發電】本日發表された所に依れば米國政府は[illegible]

希臘國際聯盟提訴

【[illegible]三十一日發電】伊太利政府は伊國の[illegible]希臘國際聯盟提訴[illegible]

伊國汽船拿捕

チシからの[illegible]電報に依れば[illegible]三十日夜同地を出帆する豫定であつたが突然伊太利官憲に[illegible]

[illegible]

京日評壇

今回關東地方に起れる震災は大きく〳〵に至る電報の聞を重ぬるに從つて、被害の程度も段々分つて來るが、分つて來るに從つて被害の程度が段々大きくなつて來るやうにさへ思はれる。今日迄に知り得たゞけでも我國未曾有の慘禍である事が分つた。

殊に『火が宮城に燃え移つた』といふ電報には、讀者諸君も何うにかならなかつたものか、遺る瀬ない思ひをせられたことであらう。折りしも聖上陛下には葉山に御避暑中であらせられ、又宮城も一部炎上したのみで消止めたのは、七千萬同胞の此上無き喜びである。◇

[illegible]今度の震災に比ぶれば、實に九牛の一毛に過ぎないのだ。其の救濟には政府は固より非常なる決心を以てこれに當らねばならない、國民は擧國一致、之を援助せねばならぬ。◇

此際、アノ山本伯を首班とする內閣が組織されやうとして居るのは何か知ら心丈夫だ。伯のことだ、必ず思ひ切つた救濟策を講ずるだらう。[illegible]否を確かめることが出來ない』との急電に接した記者の一人は心を[illegible]讀み上げた。◇

新聞記者、大十時間の我無線の幸相違は、一概に眼を瞑つて記事の記事を凝視した人。一時彼が緊張な運中だが、記事といふ記事、無事といふ記事にも觸れて了つて筆を執つて紙に臨めば、例へば醫師がメスを執つて屍體を解剖するやうな心持に成り得るので、大膽の出來事には驚かないのだが、山本伯壓殺の報には、場合が場合だし、非常なショックを受けたらしい。◇

『今一度讀むで見たまへ』と一人が叫ぶ『ヨシ……山本伯は壓殺されたりとの噂あれど眞偽を確かむるに由なし』讀み了ると『眞偽不明の噂語か』と、幾分の緩みを得く『壓殺はおかしいね、壓死で無くては、文字の遊べ方が變だ』と、いふ者がある『暗殺ぢやないかね』『何うかも知れない。何れにしても其死が眞偽不明な位だ。那邊には、社會主義者が妄斷を始めたらしいとあるから、伯の死が事實とすれば暗殺かも知れない。それよりも壓殺は文字の間違ひと見て、家屋が倒壞したか、何かで、壓死の變が起つた』と見る方がホントだらう◇

第一、この慘憺たる災厄の最中、阿鼻叫喚の修羅場に於て、若し一斤を拉ぐる餘力でもあれば、縱令他からも何人を問はず横死に救助しなくてはならない響の

ものだ。然るに暗殺など企てるとなれば、假令社會主義者の存在を許さぬだらう。主義者も其邊の事は解かるもの〔と〕見て可からう。尤も狂人は、何時にも[illegible]らない。ただし又果戲へも[illegible]て來たと見ればから、或は其れが[illegible]であつた事とに、も一度驚かされることとあるかも知れないが、何うかして伯の死が訛傳であれかしと念じつゝ此號急報を祀して置く。

東京の市街殆ど全滅
大厦高樓將棋倒しとなる

[illegible]午後八時四十五分全市に擴がり水道斷水し全く消火の術を失ひ地震により東京最高樓十二階は倒壞し近衛第一旅團は急遽出動消防に盡力すべく大活動を開始した（大阪發至急報＝號外再錄）

猛火遂に宮城に及ぶ
一部を燒失して鎭火

東京全市に漲りつゝある猛火は遂に宮城に延燒したるも軍隊の活動効を奏し一部を燒失して鎭火した本所深川は海嘯と火災にて全滅下谷、淺草、神田各區も亦全燒し三越、帝劇、警視廳、丸之內ビルデングの大建物も全燒、四谷と芝の兩區を除き、東京は焦土と化し横濱も亦焦熱地獄の慘狀を呈してゐる（二日午前六時著電＝號外再錄）

火災稍々鎭まる
芝區を除く外全燒

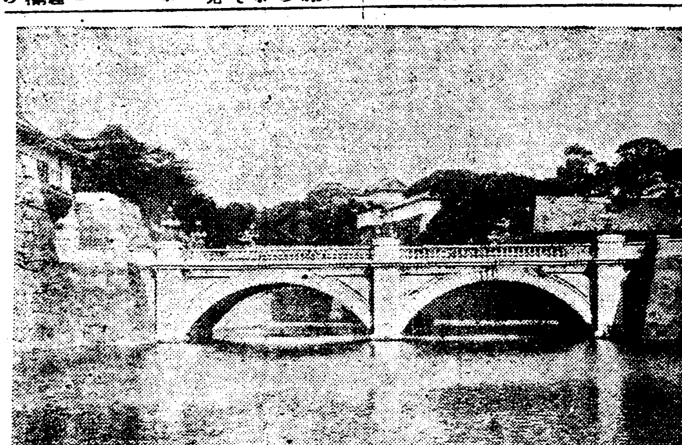
【[illegible]電報】二日午前三時鐵道省長野運轉事務所着電に依れば東京の大火は二日午前二時四十分芝區を殘した以外の全部を燒盡して稍々下火となつた

甲府地方火災

【長崎電報】甲府地方は全部火災に罹り死傷多數の見込みである

都下新聞
日々だけ殘る

【大阪發至急電報】東京市內に於ける新聞社は東京日々を除く外全部燒けたらしい



寫眞說明　上より【一】一部を燒失した宮城、【二】全燒した帝劇と警視廳、【三】同じく丸の內ビルヂング、【四】同じく三越吳服店【横】倒壞した淺草の十二階

避難者公園に蝟集

東京市街は一日正午過より引續ける火災の爲め二日午前二時半既に全市殆ど焦土と化し各公園は附近より蝟集せる避難民に依り蟻の這ひ出る隙もなく慘狀目も當てられない（二日大阪發至急報號外再錄）

箱根溫泉全潰
棧橋墜落、隧道崩壞、列車轉覆

靜岡縣[illegible]野上り線崩壞、御殿場以東に於て九〇二列車脫線十輛顚覆、駿河、山下間は海嘯にて線路埋沒百尺の鐵橋崩壞、駿河町は全滅、山下、駿河間の大隧道も崩壞した、死傷者六百名の見込、また箱根溫泉は全滅し[illegible]間の鐵橋墜落し列車不通となつた（名古屋發電）

横濱市また全滅

横濱市は地震と火災にて一大修羅場と化し、死傷者何萬なるやを知らず、交通機關全部潰滅して飲料水も食糧品もない、大至急救濟たのむとの無電が神奈川縣知事より大阪府知事に達した（二日午前二時著電號外再錄）

横須賀にも大火

【大阪電報】靜岡より大阪中央電話局に達したる情報に依れば震災の爲め横須賀市內にも火災起り目下延燒しつゝあり其他家屋の倒壞多數の見込

るべからず通信機關は靜岡以東不通である

被害不明

【大阪電報】鎭海要港部と東京海軍省との無線電信の連絡は横須賀無電とのみ通信する事となつたので鎭海軍より頻りに呼び出すも横須賀無電は破損か應答なく横須賀在泊艦船に打電するも之又更に應答なき所を見れば損害の程度計り知れず

東宮御避難

【大阪電報】東宮殿下には赤坂離宮に御避難されたが御避難先は不明である

大阪から救援船
食糧を積んで

【大阪電報】大阪府警察部は神奈川縣知事よりの救援電報に依り救援船を仕出すことになり[illegible]丸は米、干し、藥物等を積込み二日[illegible]

秩父連山噴火

【長野電報】秩父連山は一日正午より噴火し始めた

八ヶ岳また噴火

【大阪電報】八ヶ岳は目下盛に噴火しつゝありとの情報がある

電話漸く接續

【大阪電報】東京各處に火災起り大混亂の狀態である右は一日午後五時二十分非常の苦心の結果漸く各地方電話を接續して受授せしめてゐる

石油タンク破壞

【大阪電報】一日大地震の爲め新潟市沼垂日本石油會社の大石油タンクは破壞し石油半以上地上に流出した

戒嚴令
東京全市に

【大阪電報二時三十分著電】東京全市に亙つて戒嚴令を布かれ何人と雖も一歩も入らしめないたゞ食糧品を携帶したるもののみを入京せしめてゐる

熱海海嘯に襲はる
伊東でも六百餘戶倒壞

靜岡來電＝靜岡縣廳への情報に據れば熱海附近は數回海嘯に襲はれ家屋數百戶流失し伊豆の伊東でも六百餘戶倒壞し多數の死者を出した（二日大阪發至急電報號外再錄）

震源地は伊豆半島
富士火山脈と決定した

大阪測候所午後十時發表に依れば震源地は伊豆半島富士火山脈と決定した

鐵道各線被害狀況

【大阪電報】大阪驛に達したる鐵道沿線被害の概要左の如し
中央線笹子、初鹿野、韮崎甲府間不通、信越線熊谷吹上間水害の爲め不通、東海道線沼津附近震害激甚、煉瓦造石造の家屋大部分破壞各處に熱湯噴出し慘澹たる光景を呈し沼津三島間の鐵橋陥落、二三日間の復舊工事を要するので東海道線東京行きは大迂回して行かねばならずこれとても鐵道は責任を有せずと說明して居る

加藤侍從一行
新義州出發

【新義州特電】一日午後二時半龍岩浦より歸來せる加藤侍從一行は驛ホテルに一泊の上二日朝八時半生田知事の案內にて自動車三臺に分乘義州に向つたが九時十五分一行は義州着之れより先き義州驛前には義州內務部長以下官民有力者及び各學校職員生徒七百餘名と巡査教習所生一百餘名が出迎の爲め驛に堵列して之れを出迎へた、一行は直に普通學校講堂に入り有職者官民の歡迎を受け引續き生田知事の紹介にて參列せる官民有力者に面會の上目下新築中の道廳を視察し夫より統軍亭に少憩十一時九龍浦からプロペラー式雄飛號に搭乘十二時過ぎ新義州に歸着再び新義州官民の出迎ひを受け驛前ホテルに入り少憩の後一時十五分驛發列車で京城に向け出發したが新義州滯在中には商業學校、高等普通學校、普通學校等の生徒及び官民有力者多數見送りたるが加藤侍從は之れに對し一々挨拶を爲せり生田知事、安藤內務部長、[illegible]部長、石田地方課長等は途中迄隨行した

山本伯壓死說傳はる

船橋無線電信局發電＝山本伯は壓殺されたりとの噂あれど眞偽を確かむることはできない
附記　震災にて通信機關杜絕のため詳報を知るに由なく眞偽疑はしきも取敢へず報道する

總督愁然として語る
宮城の火災は恐懼に堪へぬ
震災の報を齎らして訪へば

內地に於ける大震災に對し此の報を齎し齋藤總督を訪へば總督は愁然として語る
內地の大震災に對しては未だ公報もなく個別に私信も到着せぬので全く自分には不明であるが唯新聞によつてそれを承知して居る次第である。何れ新聞は報道の機關であるから大震災は間違ひのない所であらうが新聞によると早くも火災は宮城に延燒したとの事であつたが兎に角消防手を始め其他軍隊等の大活動で漸く鎭火したとの事で畏れ多い事ながら我々臣民は漸く胸を撫で下す事が出來るのである尚ほ芝や赤坂方面は幸に未だ大火災がなく從つて目下離宮に御起居遊ばされつゝある攝政宮殿下にも別に御異狀はあらせられぬ事と信じて居るが是亦不幸中にも臣下の御喜び申あぐる所である。自分は新聞を見ると同時に恐懼措く能はず兩陛下並に攝政宮殿下へ御見舞申あぐると同時に各方面へも見舞又は問合せの爲め通信機關杜絕とは聞いて直に陸軍に依頼して無線電信を發したのであるが未だ何等の返電に接する事が出來ぬ。從つて新聞による外は何等の消息は不明であるが何にしても斯かる大震災は近年稀に見る所で邦家の爲め實に一大損失と謂はねばならぬ云々

伊集院長官
大連に靜養中

【旅順特電】山本內閣に入閣せられつゝある關東長官伊集院彥吉氏は目下靜養の爲大連に滯在中であるが一兩日中には歸京の途に就く見込

副業共進會報
懸賞募集物

共進會の懸賞募集物は既に多數の應募ありたるが[illegible]他の[illegible]懸賞募集者は比較的少ないので同會では之等にも一層多數の應募を希望して居る

全南動的出品

全羅南道では各專門の職工をして竹細工、火鉢、簾、バスケット、竹籠の製作を實演せしめ製作場の兩側には竹林を設け後方の壁面には各種竹製品の宣傳をする外[illegible]に於ける特殊出品を爲すべく計畫中である又[illegible]販賣組合では棉の播種生産一切の順序及棉花製綿に至る迄のものを自動機械で映寫し[illegible]郡[illegible]の叺組合では叺製造の實演をする
▲事務所の電話　九月一日より移轉したる共進會新事務所の電話番號は光化門局一、二六六番及一、二六八番である所用の向は右に問合せらるゝが宜しい

安東木材紛爭問題
金井會頭調停に努む
圓滿解決の期近づく

安東鴨綠江木材組合對採木公司の紛爭問題は相互の主張益々强硬にして相讓らざるため爾來官民各方面よりの調停も其効なく形勢益々混沌として前途の豫測を難からしめつゝあるは既報の通りであるが同地商業會議所にては該問題を永久に放任するは組合側の前途甚だ憂ふべきものあるのみならず延いては安東財界に及ぼす所尠からずとて金井會頭專ら兩者間に在つて居中調停の勞を執り之が圓滿解決に盡瘁しつゝあつたが同氏の斡旋により去る三十一日午後スミレに於ける公司側理事者及木商側委員との非公式會見の結果は著しく双方の感情を融和し暗々裡に何物かの曙光を認めたるやにて頗る和氣藹々裡に散會したが其內容に就ては不明なるも仄聞する所によれば金井會頭外官民有志の熱誠なる斡旋と、組合側の盟休は決して策の得たるものに非ざるべしとの氏の極論は能く木商側の諒とする所となり即ち木商組合としては本問題の目的貫徹に對する結束は依然として其の手を緩めざるも時節柄營業復活に對しては持久的に目的の遂行に努むる事となるべく又た公司側としても組合側の眞情に就ては當初より同情の眼を以て其の善後策に就き考究しつゝある矢先き不幸形勢は急轉直下して遂に此の暗雲を漂はしめたるも相互其の眞意につき稍諒解に近づける今日又一考なかる可からず今後或は別途の方法と相方の互讓とに依り漸次圓滿解決の道程に入るべく觀測されて居る。それかあらぬか木商組合にては一日午後五時より商業會議所に於て臨時總會を開き今日迄の經過に徵し更めて善後策を協議する筈であると

干潟地の開拓
良畓を得るは難事でない

現在朝鮮に於ける未墾地の所在面積と分布狀況とに付ては未だ正確なる調査を行ひたることなく從つて之が適確な狀況は知ることは出來ぬが今相當施設を爲して開墾利用し得べき見込の地を概觀すると干潟地二十萬七千四百六十九町步河邊荒蕪地七萬三千八百四十九町步山麓緩傾斜地八十一萬八千町步と云ふことになつて居る是等の開墾を爲し得べき未墾地は內地のそれに比し事業容易且有利に實行し得らるべきものが多い右に就き當局者は語る就中干潟地の如きは殊に然りとするところで今內地に於ける干潟地に比し朝鮮の干潟地が干拓の如何に易々たるものであるかの諸點を擧げると

第一は朝鮮干潟地は陸地部に割入せるものが多いので其干拓を行ふ爲めの築堤防潮堤は內地に比し一般に短く即ち內地に於ける防潮堤は一町步の干拓に對し十五間內外の築堤を要するのを常としてゐるのに對し朝鮮では僅に二間內外の防潮堤を築設すれば足れるものが多いのである

第二は朝鮮の干潟地は內地に比し地盤一般に高く且つ內地に於けるが如く暴風雨の襲來することが甚しくないから防潮堤が低くて足るばかりでなく其構造も亦簡易で足る場合が多い從つて一反步當りの防潮堤工費は內地では二百圓內外を要する場合尠からざるに朝鮮では三十圓內外で足るものが多いのである

第三は干拓事業を遂行する場合はその施工に種々の注意を要し事業の完成には苦心を爲すのは言ふ迄でもないが[illegible]干拓事業地の[illegible]に當り困難を感ずるのは[illegible]作人を得るに存するのである然るに朝鮮に在りては耕地面積に比し小作人の移住が內地に比べて容易なるのみならず移住民の住宅を建築するに容易である如上朝鮮に於ける干拓地開拓は其の經費一般に比較的少額にして足るから[illegible]收支相償ふに容易で干拓事業は內地のそれに比し有利であるに拘らず從前の狀況は一見其成績良好ならざるが如き觀がないでもないが之を以て直に干拓事業を不可能とし若しくは無謀の舉なりと斷ずべきではない畢竟は其企劃經營方法の適否如何に因るのであるが之が企劃に當りては（一）事業地の選定に注意すること（二）設計工事に付ても相當經驗ある技術者をして慎重なる設計を爲さしめ完全なる工事を施すこと（三）充分の資金を準備すること等に[illegible]の注意を拂ふ時は投資者も安全の收益を擧げ得べく相當事業であり個人的にも亦有利なる事業として經營し得べきものである

粟作增收見込

[illegible]られたが六月下旬の降雨で回復し七月下旬及び八月上旬の降雨では損害を蒙らざるのみならず却て成育を助長された趣きがある目下の所頗る良好の狀況であつて前年實收高に比し增收の見込である收穫の豫想高は十八萬九千八百三十七石で前年實收高十七萬七千六百十四石と比較すると八分七厘の增收に當る見込みである

手形交換減少

京城手形交換所八月中の手形交換高は枚數九萬九千二百二十八枚金額三千七百六十六萬三百九十一圓にして七月中交換高に比すれば二千四百七十四枚二百九十九萬二千二百七十七圓四十七錢の各減少である

人事消息

▲山口壽夫氏（山口縣警察部長）二日朝釜山着直ちに北行旅順へ向つた

茶話

朝鮮の西鮮地方には稀に未曾有と云ふ程どの大水害があり人畜の死傷[illegible]明せずと云ふ有樣でさたから此の世からなる活地獄を現出したが▲此の事は畏れ多くも天聰に達し御內帑より救濟金を御下賜になつたのみならず特に加藤侍從を御差遣になつた▲實に我等臣下の恐懼措く能はざる所であつたが此の事の未だ消失せぬ矢先東京では大震災があり大厦高樓を連ねて倒壞、全市は火の海に化したと云ふ▲何たる慘！何たる悲であらう恐るべき大自然の力よ、それは紀元二千五百八十三年恐るべからざる此年に於て最も猛威を逞しふしたのであるのだ▲二、三日前茶話子は京城北部警察部長の北の朗々たる浪花節を紹介した▲所が當の富永君悲憤慷慨の得意は[illegible]浪花節だと大いに抗議を申込んで來た▲茶話子又大いに恐縮して『然しそれもさうだが又浪花節は何うです』と云へば富永君は莞爾に曰くだ『ウム浪花節も少しはやるんだ……』とは何うです。

有史以來未曾有の大慘事
親戚知友の身は如何にと
安否を氣遣ふ在鮮の人々

通信杜絶の爲め詳細を知るに由なきも今回の震災は有史以來實に空前の天變地異て震災は軈て火災となり海嘯となりて東京市を始め附近一帶は阿鼻叫喚の修羅場と變じたるこそ誠に悲慘の極みてある、身は朝鮮に居て此の慘禍を免れても親戚故舊知人等が彼の地方面に在る人々は己の安全に引き換えて心もそゞろに落付く所を知らぬ狀況てある、

畏き邊りは御安全と拜察
丸山局長憂色を湛へて語る
遠慮して宴會も取止

內地大震害の報を傳へて使城警官舍に丸山警務局長を訪へば今時に出掛けんとする所を暫し自動車を待たせて快よく案內する局長は『實に空前の大震事ですね、何分通信が不可能なので全く眞相は判らないが……』と滿面に憂色を湛へながら『さア…………陛下や攝政宮殿下の御身邊には萬々別條はおはさぬ事と畏れながら信じて居ますが……今回の災害に關しては總督府としては取敢ず御見舞申上ねばならぬと思ひますが何分交通が杜絶して居るのであるから上京すると云ふ譯にも行きませんし何とか他の方法を講ぜねばなりませんね、今から總督總監を訪問して此件に關し御相談しやうと思つて居る所です』と長息しながら鈴木屬を呼んで『鈴木君、今夜お客さんを呼ぶ事になつてゐたが東京の方の騷ぎが餘りひどいやうだから遠慮しようぢやないか氣の毒だけれど宴會の方を斷つて吳れ給へ』ゆかしい心の閃きが窺はれた。

仁川の地震計飛上る
震源地は靜岡附近か
餘り激しいので針が外れた

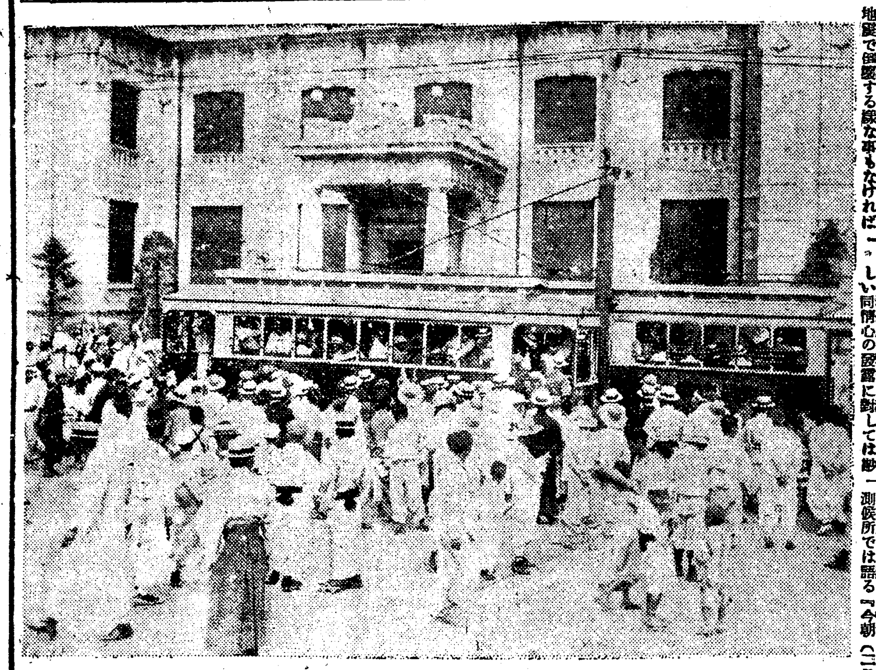
（觀測所發表）一日午後零時一分當所地震計に大地震の波動を感じたるがその波動記錄の狀況は午後零時一分十四秒初動を起し微細なる初期微動を二分十一秒間繼續し午后零時三分三十秒俄然顯著なる主要動に移り振幅一、五粍以上の波動に達し地震計の秒針記錄紙外に逸出したる爲め主要波動の狀況詳ならざるも本地震の震源より仁川迄の推測距離は千二百五十浬內外（約三百里）又釜山名古屋大阪等の電報に依れば釜山の發信時刻は午後零時零分三十一秒、大阪午前十一時五十九分三十秒、名古屋午後零時零分十五秒にして其他の各地よりは未だ詳報なきも之等の報告より推測するに震源地は名古屋より二十里內外大阪より約九十里にして震源地は靜岡縣の沿岸附近なるが如し、尙名古屋の震度は强震にして家屋稍激しく動搖し餘震ありたり

大災害に對する保險は何うなる?
能力さへあれば拂ふ がそれは迚も出來ぬ相談

未曾有の大災害で東京の如きは芝區を除く外は全市殆ど焦土と化したと傳へられ是が爲め保險會社は大破產——ではない破產して了ふだらうとの說があるが横濱火災保險會社京城支店の山本支店長は右について語る『大變な事ですね、私の方からも電報を打つて見ようと思つてゐるますが不通なので今では經過の點である、今度の災害に就てその保險金の支拂ひは何うなるかと云ふのですか火災保險の定款から云ふと『地震とか噴火による火災』は支拂はぬでも宜いことになつてゐる、併し會社としては今後協議會も成るべく支拂ふやうな方針を執つてゐるますが此度のやうな大災害では會社としては支拂能力があるまいと思ふ、私の會社だけで東京市內でも契約高が一億か二億かあるでせうが今これを一度に支拂ふとすると會社はつぶれるに違ひありません、實際東京全市が全燒したとしたら保險會社が十社や二十社、資本金も積立金も投げ出した處で追つ附く事は出來ないだらうと思ひます、話は違ひますがズット以前桑港に大地震があつた時は保險會社は率直に支拂つたと聞いてゐますが此度の災害も支拂能力さへあれば各會社は支拂ふとだらうと思つて居ます』

三越出張所長 驚いて語る
信が置けぬと

先月二十六日久しぶりに東上して同卅一日歸城した計りの京城三越出張所長藤本秀二郎氏は次の如く語る『今朝號外を見てビックリして居る所です、東京の三越本店が全燒したと云ふ報道は私には何うしても信じられない、何故かと申せば本店の建築は耐火耐震を主眼とした理想的の建物で少々の地震で倒壞する樣な事もなければ火災の心配もない筈です若し火災が起つとしても自働防火裝置があつて屋內の火熱が一定の計度に達すると屋上の大タンクから自働的に放水するやうな仕掛けになつて居るから建物の內部の少許は燒けても全燒する樣な事はありますまい、若し三越の全燒が事實とすればソレは恐らく丸の內の別館だらうと思ふ然し私としてはそれも信じられぬ、なほ東京驛頭の一大偉觀たる丸の內ビルヂングも今度東上の序に參觀しましたが此中には五萬位の人が生活してるさうで之のみで優に一都市をなして居る有樣です、彼の大建築がペチャンコになつたとすれば多くの死傷者もあつたでしやう實に大變なことになつたものです』



選手スタートを切る（電車一周競爭）

佐々木病院長 二百圓寄附
本社を通じて

府內明治町曾陽病院佐々木杏造氏は本紙の號外を見て同胞が餓饑傷病に呻吟するを甚く憂慮し本社を通じて救恤費の中に二百圓を寄贈した

附記 逸早く斯かる篤志家を見るは誠に有り難い事で其の麗しい同情心の發露に對しては鮮からず敬意を表するものである罹災同胞の窮狀を思ふの時お互は迚もジッとして居られぬものがある今後も本社は斯かる篤志家の衷心より迸る美擧に對しては喜んで取次ぎの勞を取るに決して吝でない

內地の災害がどうして判るか
二日午前中の通信系統

未曾有の大災害の爲め東京大阪間の電信電話が不通となつたのに東海道、關東方面の災害の模樣が何うして判るか—それは大略左のやうな通信系統によるのである（二日午前中）

東京＝橫濱間 橫濱署發電信は目下定泊中のコレア丸無電機を使用して各地の有線電話電信と聯絡しつゝある

東京＝船橋（千葉市）船橋無線電信所を經て各地の有線電話と聯絡しつゝある

船橋＝金澤＝龍山 但以上各地の無線電信機は發信力極めて微弱加ふるに海洋其他氣象の關係よりして接續が旨く行かない爲め目下米國領事に對し橫須賀碇泊中の米國汽船の强力なる無電機使用方交涉中である

沈沒潛水艦 引揚頓挫
海震の爲め

目下引揚作業中である七十號潛水艦は目下引揚工事に使用せる五吋ワイヤ十二條中海震の爲に切斷されたもの有り其の結果沈沒箇所を變更して引揚工事は二百十日の天候と共に益々困難に陷つた（大阪特電）

先づ平穩
二百十日の天候

二日の二百十日の天候に就き京城測候所では語る『今朝（二日）低 颶風は九州の西海上にあつて北部を通つて居る爲九州一帶は風雨が强い、勿論朝鮮地方は幾分か其の影響を受けて雨が降つて居るけれど餘り强いことはない、九州地方から中國地方にかけては荒れて居るが朝鮮は一帶に不つて居るから平穩無事の方である』

過去の大地震
朝鮮にも度々あった

今回の大地震は安政二年江戶に起つた安政の强震や明治二十四年の濃尾の地震よりも慘害甚大で有史以來未曾有の災害だと報ぜられてあるが、その

安政の大地震

とはどんなものであるか、歷史の傳ふるところによると孝明天皇の安政二年（今より七十二年前）十月二日の午後十時から震動が起り翌朝まで三十餘度に及び花のお江戶も一夜にして修羅場と化し潰家一萬四千三百四十六戶、並に一千七百廿四棟、潰土倉千四百三十四箇所、町屋燒失の總町數凡長二里十九町、幅平均二町市中の出火三十餘箇所、男女死亡四千二百九十三人、重傷二千七百八十九人

寺院に埋葬した者總て六千六百四十一人といふ當時の人口から考へると驚くべき數に及び有名な水戶の藩士藤田東湖や戶田蓬軒がその邸に於て壓死したのも實にこの時である德川幕府は之が救濟策として一萬石以下の武士に金を貸與し或は下賜して災害後の經營に備へしめ又回向院に死者を葬り永世に回向を爲さしめた、とある世界中で一番地震の多い國は

伊太利と日本

とであるが其の破壞的程度の激甚なものに於ては伊太利に於ける斯の有名なポムペイ全市が地中に埋もれた事であるが度數の頻繁な點に於いては正に日本が世界第一位であらう。今日に於ける破壞的地震を歷史的に溯考して見れば允恭天皇即位五年より明治三十八年迄約二百二十四回であつて此の外奧州、出羽、蝦夷等の如き邊鄙な地方にあつたものは其の損害程度が極めて僅少であるから破壞的記錄には上つてゐない今其中重なる震災地を列擧すれば

明治二十一年七月二十八日 熊本
同二十四年十月二十八日 美濃尾張
同二十五年十二月九日 能登國西部
同廿六年九月七日 鹿兒島縣知覽村
同二十七年三月廿二日 北海道根室
同年八月二十二日 東京附近
同年十二月九日 山形縣庄內地方
同二十九年八月三十一日 陸羽
同三十年一月十七日 信濃國長野
同年二月二十日 仙臺地方
同三十一年八月十日 福岡縣系島郡
同三十八年六月三日 吳附近

朝鮮はどうか

右の中濃尾、庄內、陸羽三地震は最も激烈なものにして人畜の死傷土地の變動甚だ多い。次に と云ふに三國時代に十一回、高麗時代に四回、李朝時代に二十六回の破壞的地震があつたが其損害程度に至つては殆ど云ふに足らぬ。古代の記錄に依つて考へて見ると地震は百二三十年乃至二百年間の靜止期がある、朝鮮も今が靜止期ではあるまいか

除隊兵の土產
受ける人には喜ばれるが 町村役場では喜ばぬ
兩師團で六萬一千圓

愈々九月に入つて京城にも徐々と秋らしい風が吹き初めて來た龍山の步兵二個聯隊それに工兵大隊にある二年兵や三年兵の間にはもうそろそろに土產物の心配を初め出した向もある例へば矢張風呂敷とか繪葉書とか朝鮮人參とかまたは鷄の骨細工と云ふ樣なもの類だ所で此の土產物に對する氣受けはどうかと云ふに受ける人にとつては兎も角も海一つ越へた新領土の色と匂ひとがたつぷりと浸り込んだものばかりの爲め何よりも先づその珍しさに非常な歡迎を受けてあるに反してどう云ふものか軍人會とか町村役場と云つた所ではこれを喜ばないつまりは二年若くば三年と云ふ長い間貴重な血稅を拂つて踏る平城達にそれ以上の負擔はもう間違つても掛けたくないとの老婆心からで各部隊は勿論所轄の憲兵隊にまでも通牒を發つて豫め風の矯正方を勸んで來るがいざ實行と云ふ段取になると却々に難しいとの話だ尙朝鮮憲兵隊司令部が調べた所に依ると第十九、二十の兩師團を通じ昨年度の除隊兵約八千名が拂つた土產物は合計六萬一千百三十八圓で一人當り平均は十九師團が七圓八十七錢餘二十師團が七圓四十錢餘と云ふことになつてゐると云ふが實際の購買高はどうしてどうしてその三倍も四倍にさへなつて居やうとの事である

賭博檢擧
何れも內地人

本町署では三十一日以來引續き管內の賭博狩りを行ひ每日五六名宛を引致取調べを行つて居ることは既報の通りであるが一日午後二時頃御成町四三番地松本方で數名の內地人が車座となり六百券を開帳して居ることを探知したので交通巡査數名の應援で現場に踏み込み一網打盡的に櫻井町二の一七〇番地藤原留吉（四八）本町五の六四番地磯野安吉（五九）本町三の三八番地高橋勝治（三五）大和町一の一〇番地山根宇之助（三九）本町五の七番地砂山福三（三一）大和町一の二五番地加治松次郎（五二）南大門通五の五九番地本藤吉（四六）の七名を檢擧したが孰れも賭博の前科者であると

新學期の兒童と家庭の注意
ウッカリすると寢冷をする
傳染病も猛威を逞しくする時

一日から各學校とも第二學期の業が開かれた、久しい間の休暇で其生活も區々になつてゐたのが之から急に一變する譯である、この生活の激變は殊更小學校兒童にとつては注意を要する事が多々ある且つ未だ殘暑も可なり强いし追々時候の變り目に近づいて來るから兒童自身もだが家庭に於て充分な注意を拂はなければならぬ第一に注意すべきは宵の口と夜中との氣溫の差が甚だしいから迂濶すると能く寢冷をする時期である、寢冷えが因となつて腸胃を弱くするこの虛に乘じて色々な惡い病氣が付け込むから油斷がならぬ、それと氣候がよくなるに伴れて食慾が進んで來る、進むに任せてツイ過食する憂ひがある是等も充分注意を拂はなければならぬ第一に注意せねばならぬ事柄である、秋風がソヨソヨと立ち始める頃が傳染病の最も猛威を逞うする時期であるから之亦注意を要する、第二學期の初め頃などのやうに好い時候の時は活潑に運動させる方が良い、斯うしてゐる間に直多餘もりせねばならぬ朝鮮に於ては尙更の事で餘り詰込んで小悧巧な兒童を拵へず、モット兒童の將來の爲を思つて好季節には充分活潑に嘻々として遊ばすが好い。

大京城の距離を短縮する痛快な電車一週競爭
選手や應援團で雜踏した
鮮銀前出發點の賑ひ

本社主催市內電車一周競爭は二日午前十時から擧行された、前日來考慮に考慮を加へて練習しつゝあつた各商店選手は多數の後援者と共に定刻九時三十分までに參集するこの興味ある競爭を見んとする群衆は鮮銀前に人垣を築き非常な雜踏を呈した、定刻大島審判部長から參加選手に對する注意あり選手の希望に依つて豫め南行選手と北行希望選手とを區分し抽籤の結果十時六分丸福商會の金興鎭選手が北行第一のスタートを切る以下

北行選手

德本銃砲火部 飯島健吉 十時七分
しらぎ京染店 倉岡利夫 十時一分
戶田農具會社 宗學善 十時十六分
米倉けいと店 上山雜助 十時十七分

南行選手

三中井吳服店 西川清次郎 十時八分
島田商店 坂本寬作 十時十分
鈴木商店麥酒部 十時十三分
篠崎商店 小島倉七 十時十四分
貴生堂 田口長一 十時十四分
川部米穀店 川部幸一 十時十五分
ちよぶや商店 田中久雄 十時十七分
セヤマ樂器店 朴駿敎 十時二十分
日本ビール 金壽天 十時二十分
靑木堂 久保田孝一郎 十時二十分

の順序に次から次へ出發したが當日は恰も第一日曜日のことゝて各商店とも自家選手のため自動車或は自轉車を驅つて聲援に努め豫想外の盛況を呈した

お斷り

內地の大災害に際し電車一周競爭などを催すことは如何にも其の時期でないと思ひましたが何しろ本社が災害の電報を受取つたのは一日夜中のことで夫れまでには既に右競爭に對する一切の準備を進めて居りました關係上不本意ながら是を決行することにいたしました幸に惡からず御諒承を願ひます

主義者連の講演禁止
內容不穩の爲

二日は國際青年デーと云ふので在城のソウル青年會土曜會の主義者連が全鮮の小作人相助會宛てに過激な文字を聯ねた印刷物を秘密出版し發送せんとする處を鍾路署に發覺幹部韓愼教以下十六名が檢擧されたとは朝刊所報の通りであるが二日は慶雲洞の天道敎堂で講演會を催すべく市內に宣傳ビラの撒布方を其筋に屆出たが當局の指示命令を無視して內容不穩に亘り共產主義を宣傳するもの故講演宣傳許可を取消された

爲替を拔取る
太平郵便所員

府內太平通り郵便所では事務員が郵便物中より爲替券を竊取して現金を詐取し數回其筋に檢擧されたことがあるが又復同所事務員たる孫松洞一一四番地柳彥鎭（二〇）は數日前爲替券二十五圓を竊取して現金を引出し知らぬ半兵衞を極め込んで居る處を發見され一日午後四時頃本町署に檢擧された

大每の野球團
二日朝釜山著

日下主將以下十四名の大每野球團一行は木下助士引率の下に二日朝著釜稅關軍と對戰の豫定であるが天候不良の爲期日は未定である【釜山特電】

天に冲する火焰

高樓軒を連ねて倒壞したため交通杜絶の有樣となつたが午後〇時半

大火の海と化し水道は斷水し消防手の力盡きて手のつけ樣なく阿鼻

關所を埋めた人の山
市中は物凄く……狀況

沸き返る樣な狀況である、午後三時位からこの光景を見んとする群衆は再び停車場に押し寄せ今か今か……であつた

天氣豫報（三日）
風强かるべし
二日午前十時京城測候所發

謝近火御見舞、 平壤大和町 秋鹿支店 電話六六四番

謝近火御見舞 各國時計貴金屬商 平壤大和町 福田精工堂 電話五一五番

謝近火御見舞 平壤大和町 藤田時計商會 電話八三七番

謝近火御見舞 平壤大和町 八洲國屋支店 電話七三五番

謝近火御見舞 平壤大和町 片倉組 電話二四五番

謝近火御見舞 平壤大和町 丸橋吳服店 電話四六番 一六七番 大塚商店出張所 電話四八番

謝近火御見舞 平壤大和町 藤本醫院 電話一五〇 二二〇番

謝類燒御見舞 平壤大和町 岩野靴店 電話二二三番

謝類燒御見舞 平壤大和町 矢野金物店 電話七三二番

謝出火御見舞 平壤大和町 成瀨愛生堂藥房 電二一五二番

心臟病
右永年難病の根源療法も其効なき方に効能早き妙藥を授與す困難者は速に申込あれ直ちに送藥す
兵庫縣明石市外玉津村 日輪寺別院

哈爾賓 北滿ホテル
ロシアを解せんとせらるゝ御方は先づ當地へ御來遊願上候
大食堂にて每夜ロシア名物カバレット劇を開催致居候

最新刊
文檢受驗者の爲めに（十二年版） 明治敎育社 三、〇〇
憲法撮要 美濃部達吉 四、〇〇
東京へ 鹿森成吉 二、五〇
愛の言葉 高山辰太郎 一、六〇
白樺薇公子 大久保 一、九〇
童話人形の國 加藤まさを 一、三〇
現代思潮十講（大阪） 桑木博士 二、五〇
排日の實狀 應江政八 一、六〇
文部省查定常用漢字の字引 一、五五
經濟學要論 神戶正雄 四、四〇
新式布石講話 中川龜三郎 一、九〇
海の傳說と情話 大阪朝日新聞社 一、一〇
最近の金融經濟研究 堀田、河津、堀江博士 二、〇〇
萬物皆戰ふ 長尾宗軾 二、二〇
學校小說中學時代 住田章 二、二〇
朝鮮職員錄（十二年四月一日現在） 一、七〇（送料一〇）
振替京城二五七三 大阪屋號書店 京城電話本局 八六四、二〇八六

樂器運動具定價表進呈
少年少女音樂隊組織
於朝鮮 樂器界の元祖
京城鍾路大通り セヤマ樂器
京城鍾路（鍾路警察署前） セヤマ運動具

京城長谷川町（警察署横） 備前屋旅館 鑛冷溫泉 電話本局 一五四一・一六一番

尺八指南 上田流 森田仙 黃金町一ノ一九四

品ガ良ク値ガ安イ鞄製造 藤川鞄店 旅行具專門 京城本町二丁目

京城著名藥局案內（イロハ順）
クスリは藥劑師の調劑は藥局
明治町二 橋爪藥局 電本二五二五番
龍山元町 林藥局 電龍三二二番
本町四 ダルマ藥局
本町一 山岸天佑堂藥局 電本二〇一四番
本町二 古城贊化堂藥局 電本一〇二番
大漢門前 愛生堂藥局 電本二四〇〇番
明治町二 阪井藥局 電本一四四四番
本町二 北島藥局 電本七六一番
本町三 ミヤモト藥局 電本三一二七番
本町三 森川回天堂藥局 電本二二七六番
藥品純良調劑確實

……に及んで炎炎たる……著多數に上るべしと【長野發大阪經由至急報號外再錄】

亘る地震の損害は言語に絶し……東京全市……

暴風警報

基金調達に絡る 新義州分會の怪聞
自己の力を過信した 本田分會副長の失策

國境都市としては比較的平和な新義州にだて最近另角の流言蜚語が傳へられ稍々識者間にいまはしい問題として喧傳されてゐるが事は新義州在鄉軍人分會に絡はる第二守備隊營舍兵營買收事件は前分會長山本喜房氏死亡と共に一層濃厚となり一面に於ては分會副長たる本田保太氏の專橫を憤り其の引責辭職迄も迫るまじき勢と化し益々惡化するに至つたが小野明治郞氏山本氏の後任となつてから新義州府尹錦織足喜代氏との間に圓滿解決を見たるやにて爾數日間の錦織小野兩氏間の交涉は大いに注目されてゐるが事の眞相の大體次の樣なものである（新義州）

新義州在鄉軍人分會は分會長本田保太氏が分會基金調達の意味から目下手數で使用出來ぬ新義州府內の第二守備隊兵營の拂下げを受け之に代はるべき府外龍岩浦街道の敷地七千坪を購入新兵營となし交換の上新義州府に賣買其差額を得んとするに當り不正行爲あるやに世間傳へられ或派は本田氏の人格を云々し之が糾彈を主張し脇に擯斥運動が喧傳された即ち本田は昨年十月守備隊用地たる舊兵營の不用なるを聞き込みこれと交換すべき土地を府外に物色し得たる舊兵營をば住宅地として府營に轉賣し一萬圓程の利益を得在鄉軍人分會の基本金の一端とする等の計畫を時の分會長山本後備歩兵中佐等が協議した結果進んで之が交涉委員に當る事となり山本分會長及び評議員井口文意等と計り歐々着手する事と決定するに至つたが之に先立ち評議員會に附する段取りとなつたが且つ評議員會を召集せず僅に形式を逃つたのみで獨斷專行の潛越なる行動に出でたもの△如く時恰も山本分會長は病氣治療の爲め鄕里和歌山に歸省し後死亡した處から全くの獨り舞臺で龍岩浦街道に添ふた七千坪の土地買收に着手するに至つたが何分にも金融難の際の事とて買收金借り出しに安東縣龍口銀行其他が高い金利で貸出しを承諾するの運びに至つたは當面目に相談に乘る者なく纔に這般の數萬圓の買收金借り出しに迫し居る近來と然して買收すべき問題の土地も坪當り一圓乃至一圓五十錢見當なりしものが本田の交涉甚だ拙なりし爲め坪當り一圓五錢乃至二圓三十錢と云ふ地價で坪當り二圓として一萬五千圓內外の處が金利や費用共三萬圓を要するに至り爲めに豫め買上げ方法を內諾したる新義州府尹錦織足喜代氏も殆んど兵營を府が手に入れるのに三萬圓の金と更に手數料名義で一萬餘圓も引たくられては彼の立場は無いと玆に萬へ總るに至り加ふるに三月中に全部經過する筈の土地が未だ腐つた樣んでで其の間に高い金利を支拂ひ居る結果に陷つたので心ある人々や三百餘の分會員中には本田の行爲に對し惡の風評と非難の聲を擧げ末は背任行爲呼はりをなすに至り責任問題迄も追るまじき勢と驗して形勢頗る惡化されそれかあらぬか本田は私用にかこつけ身を內地に隱したと迄噂天的となり揚て加へて新義州憲兵分隊は斯くと聞いて直に秘密裡に之が實地調査をなし嚴重なる取調べを開始する事となつた一方分會長死亡後設任分

會長に推された後備陸軍步兵少佐小野明治郞氏は就任早々錦織府尹と種々この問題で交涉する處あり玆に角分會としての今回の措置は充分に手落ちもあり事なれど此の際過分な手數料や運動費の意志は放棄して分會を援助して貰へばそれで滿足であると一面に於て本田の立場を庇い一面に於て分會の立場も明かとなし玆に角圓滿に解決の曙光を見るに至つたと傳へられて居るが分會としては折角の基本金が之が爲め得られなかつた點は爭へない事實であるからこの責任上本田は分會副長の職を辭すべきものと一般に豫想されて居る

背任行爲は認めない
久留島分隊長談

分隊では世間に忌はしい風評のあつた事に早くも搜索に着手し最も慎重に取調べを開始した勿論本田の手段が惡かつたかも知れない然し玆に運動費名義で使用した金員中には詐欺的行爲はなく寛じ詰た處これといふ背任行爲として處罰すべき程度のものも發見しなかつた樣に見受けられたので取調べを中止した次第である、要するに分會其自體の利害問題は直接分隊の監督範圍ではないからそれ以上分隊として取糺す譯には行かない云々

殘念な事をしたものだ
本田新分會長談

斯うした問題が起した事は事實であり本田の得手勝手な行爲から安い金利で買收金借り出しが出來なかつた事と府尹との間に始めの約束を完全に履行し得なかつた事及び分會基金繰入れの豫想金額が減じた事は殘念である、然し本田とて惡い結果を齎す積で取掛つたのでは無く要するに本田が餘り切れ過ぎて當分會としては初めての重大問題を輕々しく取扱ひ秩序立つた方法に出でない結果に外ならない尤も分會は從來評議員會を開いても餘り出席者がないから問題のある際はホンの形式のみの評議員會を開催するに止まり分會の損失並に會員の名譽毀損にならぬ範圍は幹部に於て處理するも差支ないと云ふ事になつてゐる然し斯うした當分會空前の問題を一小問題の如く取扱ひ不幸にして不結果に終つたといふ事は遺憾である尚運動費名義で本田が使用した金員は詳細には知らないが別に着服した譯でもなく又或る程度迄は犧牲策も必要であらうから此の際相當の同情をしてやるのが順當であらう

多獅島築港問題
工費三百卅萬圓 六ケ年繼續事業 內十五萬圓を十三年度豫算に計上

【安東】安東兩地間多年の懸案たる多獅島築港問題は同築港期成會會長多田榮吉氏及び安義兩地有志の熱誠なる運動と努力に依り今回多田榮吉、金井佐次兩氏上城總督府に就き陳情の結果同府にても愈々該築港の急設を認め工費三百三十萬圓を六ケ年繼續事業として起工する事となり內十五萬圓を來る十三年度豫算中に計上し先づ第一期工事に着手するに決定せる由にて同期成會では去る卅一日當地商業會議所に於て之が報告會を開き併せて本問題と關連せる鴨綠江鐵道をも一兩日內に平北道廳を經て出願するに決せるが之れによつて安義兩地間有志が積年喧嘩しつゝあつた本問題も玆に漸く其緒に就くに至つた

橫斷航路滿腹

日本海橫斷航路立神丸の代船羅南丸は二十七日城津港出帆敦賀に向つたが當地からの積荷は生牛七十五頭大豆一百噸旅客百十一名で非常な長成績であつた

富寧から茂山へ 自動車遞送

【淸津】咸北富寧の茂山へ淸會線驛の古茂山から自動車遞送計畫中だつたが今度愈々富寧驛を基點として茂山まで一日一回の自動車遞送を實施することゝなり申請者たる三光組と遞信局との運賃協定も成り不日開始の筈茂山奧地の住民は此の報を得て非常に喜んで居る

豆滿江材好況

【淸津】昨今の豆滿江材は阪神方面には殆ど餘裕きが無いが釜山地方及び南鮮では鴨江材の少き關係より北鮮材の需用漸次增加し殊に支那天津には多く歡迎され最近當地方に支那商人が手を伸ばして活躍し出したのは驚く可き事實である昨今當地の相場は七、八錢のもの天津では十三、四錢處で阪神地方に比し遙かに好調である

淸羅線を直通
康德驛から直に淸津へ

【淸津】淸津羅南間の鐵道線路は現在のところ輸城驛に迂回すると全線の三分の一以上遠廻りとなり旅客の不便甚だしきより滿鐵では之れが附け替て計畫を樹てた即ち淸羅線中の康德驛から直に淸津に通ずるやう改善するらしく此れが實施は咸鏡全線の開通と期を同じうする豫定だと

大田郵便狀況

【大田】大田郵便局にて取扱はる郵便物並に爲替貯金等の最近の狀況に就き松尾大田郵便局長は語る、近來湖南線地方の發展著しき爲め此方面に關するものが著しく增加してゐる、一般に當地は取扱口數が大變增してゐるので從つて事務も多忙を極めて居る殊に七月列車時刻改正以來本線と湖南線との接續時間短縮の爲め大繁忙を來してゐるも京城方面よりの郵便物は殆ど夜間の列車にて到着するが爲め晝間よりも夜間の方が餘程忙しいのである其內通常郵便物は統計上極めて調査に困難であるが同本年七月中の統計と昨年七月中のものとを對照すれば特殊郵便物は昨年の引受口數四二四〇に對し本年四四八三にして本年は前者が七八〇一後者が六一一七であつて前者の四割六分後者の二割八分の增率である小包郵便物は昨年の引受口數八四三〇に對し三二四九〇にして此七月の引受口數は一二八九〇に對し四二三一であつて孰れも昨年に比する時は前者の三割四分後者の一割一分の增率となつてゐる尚爲替（通常、電信、小爲替）及貯金（各種）に於ても受入拂出の口數金額は昨年に比較すると一割乃至二割の增率を示してゐる

仁川の屠殺牛

【仁川】客月中に於ける仁川の屠殺牛數は牛二百三十七頭豚二百八頭計四百四十五頭に達し何れも府民の食用に供されたが之れを前月對比すると牛は九十頭豚は四十五頭の何れも增加を示したが漸次秋冷から冬季にかけては更に增加するのである

加藤侍從一行 日程

【新義州】御聖旨傳達の勅使加藤侍從一行國境の日程は三日午後一時三十分發汽車で南行の筈なりしを變更され一日午後三時龍岩浦より歸新二日朝八時自動車にて義州へ赴き狀況聽取の上統軍亭に小憩し維飛丸にて税關棧橋着宿泊所たる驛ホテルにて中餐の上同日午後六時發汽車で南行と決定從つて滯在一日繰上となつた

仁川署落成式
九月下旬頃擧行

【仁川】曩に仁川穴門通公會堂側に新築中なりし仁川警察署廳舍は愈々來る十日頃竣工本月下旬開廳式を兼ねて落成式を擧行すべしと

優勝旗爭奪 淸津羅南庭球戰

【淸津】咸北運動界の唯一年中行事と唱はるゝ淸津と羅南の優勝旗爭奪庭球戰は愈九月第三日曜（十六日）をトし會場は羅南と決定した兩軍とも十三組の出場を見るべく初試合以來白熱戰を繰返して居るこの大會戰は今より好球家及び一般市民の血を湧かせてゐる

安東庭球試合

大連滿鐵對全安東軍の庭球對抗試合は豫定の通り去る三十一日公會堂コートに於て催されたが安東軍善戰克く努めたるも大連軍の陣形更に敵れず遂に優退三組を殘して安東軍の敗に歸した（安東）

振安庭球試合

振安庭球具樂部主催にて、三十一日午前九時より安城普通校々庭に於て安城平澤庭球競技をなし平澤より上野豆生田主將引率の下に西米路其他の選手二十餘名出場したが、觀衆二千餘名に達し非常なる盛會を極めた（平澤）

副共と木浦出品

木浦府では今秋京城で開催の副業品共進會へ左の十三點を出品し本月末までに府廳に於て取纏め京城に發送すと（木浦）

魚網一、チョッキ三、下駄二、同六、同二、○類六百匁、同六百匁魚油一升二合、櫻草二、蒲鉾五、寒天細三、同角十、

副業共進會出品 牙山

郡內副業品共進會出品は三十五點であるが主なるものは左の如し（天安）

日高利一氏外一名果生絲毛皮豚毛の刷毛乾柿三名柿栗二名甘藷髙畑氏蜂蜜蠟溫陽普校以下乾魚類醬具檳山攅作氏の帽子藁細工バスケット果物入安部菊造氏の菓子栗野の切干大根髙畑多吉氏の切干甘藷日高利一氏の製栗資產組合鷄プリモースロック鷄卵等である

北鮮運輸株式成立

【淸津】北鮮運輸合名會社が事業の膨脹に伴ひ之を三十萬圓の株式組織に變更する事となり此の程來諸般の準備中だつたが、去廿六日愈々創立總會を同社樓上に開催し創立委員長秋田千代松氏より從來の合名會社を買收したる價格査定其他につき詳細の經過報告あり、定款を附議し重役の選擧には

取締役、岩田逡、岩田統一郎、金子睦、四先喜平次、駒木德藏、藤井又一、小髙直、平田太一郎監査役、岡本常次郎、河田千代松、宗三郎、山中博道の諸氏當選、更に金子、山中の兩氏を檢査役に推し別に重役互選の結果岩田逡氏を社長に支配人に鵜木德藏氏を決定した

ポンプ購入費寄附

【光州】光州消防組ではガソリンポンプ購入の目的を以て警察部光州署後援の下に日本髙火國旗を搭き光州座に於て開演したが千二百十三圓參十錢の收入あり諸費用六百九十四圓八十九錢を支拂ひ殘金五百十八圓四十一錢を得たので之が全部を光州面に指定寄附とした

新義州臨時淸潔法

【新義州】過日の大水で浸水家屋を出したり上海虎疫も段々接近して來たので此の際新義州署で臨時大淸潔法を施行する事となつてゐたが何しろ二百十日の荒模樣を控したので四日から左の日割で實施する事となつた但雨天は順延の筈

▲四日本町濱町大和町櫻町旭町
▲五日常盤町緑町榮町眞砂町
▲六日梅ヶ枝町老松町
▲七日雲井町若草町霞町初音町

忠北運轉手試驗

【淸州】忠北道警察部では二十七八兩日北道自動車運轉手の試驗を行つた結果受驗者四人中二人は合格した一人は永同自動車部一人は淸州服部自動車部の運轉手であつた（淸州）

演武場上棟式

平澤署構內演武場は嚴に工程を急ぎつゝありしが、三十一日上棟式を擧行した、因に九月末迄に全部竣工し十月上旬盛大なる落成式を擧行する豫定である（平澤）

奧原視學榮轉

黃海道管內普通學校八〇公立小學校二五の指導と監督とを双肩に荷ひ著々として向上發展の域に進みつゝあつた道視學の奧原威六太氏は八月二十八日付で慶州第二公立普通學校長兼黃海道立師範學校の教諭に榮轉したが後任視學は瑞興公立普通學校長木村直衞氏である（海州）

鮮人教員講習會

九月一日から四十日間平北道義州公立普通學校に於て鮮人教員學力補充の爲め講習會を開催すと（義州）

地方人事

▲背木戒三氏（本府專賣局長）全南視察の爲二日來新（新義州）
▲全淸州野球團 二日大田滿鐵野球團と對戰の爲出發した（淸州）
▲淸水源氏（井邑支廳檢事）滿洲視察の歸途三十一日淸州に立寄り各方面を訪問し二十……

演藝案內

黃金館 松竹キネマ直營
毎日晝夜 二十九日晝間より
パラマウント、マガジン 實寫 音樂 利用 全一卷 パシフィック會社製作
◇神秘大活劇 運命の30 全五卷 このスザマシキ爭鬪この映畫にして此の活劇ありウァイタグラフ映畫コリンヂリフキス孃主演
◇大活劇 猪突猛進 全五卷 ジャネッタは社交界に豪奢の限りを盡してゐたが父の經營する會社の紛擾を知るや戀人と力を合せアラスカの天地に活躍を試みた
◇長唄 勸進帳 下ノ卷
松竹キネマ超大特作映畫 ヴィクトルユーゴー血涙の原作 巨星井上正夫努力主演 文藝レ、ミゼラブル 大映畫 通續 噫無情 全六卷 第二編『市長時代』
岩田祐吉、野寺正一、片桐忠郎正宏、岡田宗太郎、武田春郎、堀川浪之助、髙山晃三、浦茂子、五月信子、髙尾光子、米津左喜子 地には『慘苦』の呻きの一瞬として絕ゆる間もなく然かも天は悠々として六年の歲月は流れた…M市市長、マドレーヌとして立つてゐたそして『慘めなる女』ファンティヌを懷に抱いた

喜樂館 日活直營 京城本町壹丁目 電話五九七番
三十日より超特作大映畫上映
實寫パテー週報 一卷
パテー會社米國支社 ルスローランド孃主演 連續活劇 覆面の女 自七編至八編
日活會社向島派特作映 純映畫 從兄弟 全五卷 美しい花片が鐘の響にほろ〳〵と散り迷ふ頃僞りと醜惡に充ちた人の生活に反感を抱いて恰も淸教徒の樣な生活を送つて居る竹村にも惱しき春の寂しさがあつた其は失戀に惱む青年と現代の虛飾に走る女の幻滅の悲哀を赤裸々に描寫した家庭悲劇である

浪花館 明治町 電話二六〇
滑稽活劇 メリーの捕縛 二卷
日活京都派特作大映畫 尾上松之助一人三役の大活躍 金比羅利生記 復讐奇談 田宮坊太郎 全七卷 丸龜の領主生駒公が毎年吉例たる武術の試合が城下八幡の境內で催されたかねてより劍道師範の堀源左衞門の足輕に制せられしを遺恨に思ひ此の大試合を機として一大騷動を惹起する
卅一日より特別興行京阪落語大一座 都家歌六一行 ▲落語笑話▲落語昔噺▲落語千枝▲笑話 ▲落語歌丸▲落語現代踊▲長唄舞 ▲落語踊▲一圓齋▲大切餘興總出

西洋料理 東洋軒 仁川宮町 電話五一九番

松本醫院 內科 小兒科 外科 花柳病 ×光線科 電氣科 仁川宮町 電話三四五番

最上醬油 ウリーコッキ 日本醬油株式會社 釀造元

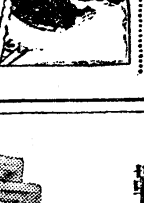
問題の奇書忽七拾版

餓鬼道

澤田順次郎先生著

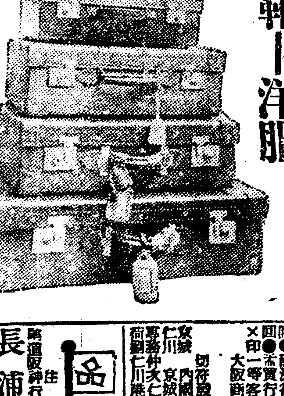
異性の肉に憧憬れ其の香に集る淺ましき人間の世界よ！夜となく日となく淫蕩なる享樂を夢見て燃ゆるが如き情火の如何に恐ろしきことよ！飢へたる虎狼に等しき獸畜にも劣れる亂淫放從なる享樂は本書に依つて明るみへ投出された寧ろ怪奇なる場面は讀者をして驚歎せしむ

內容の一節 ……本堂の裏手の寂しい墓場に連れ來り……あそこは燃え立つ腰のもの一つさなつた腰のものも……



神經過敏なる青年男女は一時に多く讀む事を止めよ、此の如く赤裸々に看破せし書は天下に類なし、發賣以前より各方面の問題となれる奇書希望者はハガキにても新聞名記入 ▼次第代金引換にて送る 美人の姿態寫眞繪端拾數葉挿入
四六版 箱入 特價壹圓七拾錢
◆代金引換送料廿二錢 ◆前金注文送料八錢
東京麻布富士見町六 振替東京一五八番 電話芝五〇八〇 正文社

京城南山町二丁目六番地（天滿町ヨリ西ニ至ル角） 入院隨意 片山內科醫院 電話一九五一番 片山信夫



鞄—靴—洋服
學生服販賣開始 學生靴特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趨可致遠方の御方には型錄送付可仕候
大田監獄調製 學生鞄
京釜線大田春日町一 製造販賣 朝鮮革具合資會社 長距離電話一七二番 振替京城九八〇七番

時計並貴金屬 仁川本町 糸岐商店 電話長三七〇番

朝鮮銀行
資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 壹千七拾九萬圓
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮、滿洲、及支那港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候
總裁 美濃部俊吉
本店 朝鮮京城南大門通 振替貯金口座京城三三三番
支店出張所 內地 東京 大阪 神戸 下關 朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 淸津 會寧 滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 新市街 鐵嶺 開原 四平街 長春 吉林 哈爾濱 安東縣 公主嶺 傅家甸 支那 上海 靑島 天津 濟南 露領 浦潮斯德 米國 紐育 英國 倫敦 巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

A…四博士に依て完成
B…在來品に比し優越
C…量に於て亦三割安
仁丹のハミガキ
即刻御試用を冀ふ

仁丹の懷中藥
仁丹召して……心身爽快
仁丹召して……胃腸强健
仁丹召して……いつもニコ〳〵

金言
眞實ヲ話サヾル人ハ眞實ヲ聞クモ之ヲ信ゼズ
（イギリス俚諺）
A—K

內地各港出帆主要航路

大阪商船株式會社仁川支店 電話一〇〇五五

●歐洲行毎月十三回 ●南米行一年十回 ●濠洲行毎月一回 ●北米行毎月一回 ●香港行毎月二回 ●南洋行同一回 ×印一等客御斷 △印貨物船

切符發賣取扱所 內國通運會社支店電話七〇番 京城通り盛旅館 電話二六番 仁川本町 岡田組 電話二八四番 仁川港町 岡田組 電話四二一番

大阪商船出帆

仁川出帆		
大阪行（群山木浦經由）		
×大信丸	月 日午後三時出	
×天草丸	月 日午後三時出	
△福州丸	月 日午後三時出	
●南浦安東縣行		
△東晃丸	月 日午後三時出	
△第七原田丸	月 日午後三時出	
●淸津雄基行 元山出帆		
新高丸	月 日午後四時出帆	
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行		
交通丸	月 日午後五時出帆	
●上海福州基隆高雄行 大連出帆		
（但し〇印は青島寄港）		
昭京丸	月 日午前大時出	
○	月 日午後大時出	

平安丸 九月五日（安東大連 靑島芝罘行）
江原丸 九月十四日（大連芝罘行）

仁川代理店 三菱商事株式會社 仁川出入

長浦丸	九月二日	入港
	九月三日	出港
三瓶山丸	月 日	
大黑山丸	月 日	入港 出港
長浦丸	月 日	入港 出港

阪神行 鎭南浦行 住航

三菱商事株式會社船舶部
仁川代理店 浦崎商店回漕店 仁川本町四丁目 電話長五〇番

○仁川取扱店 堀回漕部		
昌德丸	九月四日	橫濱行
忠淸丸	九月四日	大阪行
新義州丸	九月十七日	新義州行
全州丸	九月三日	木浦行
互濟丸	毎偶數日	海州行
盈德丸	九月四日	鎭南浦行

○木浦代理店 商船合名會社		
昌福丸	九月六日	橫濱行
忠淸丸	九月六日	大阪行
昌原丸	九月三日	釜山行
慶興丸	九月五日	濟州島行
咸興丸	九月十一日	多島海行
全州丸	九月八日	仁川行
新義州丸	九月十四日	新義州行
江原丸	九月十一日	靑島大連行

○釜山代理店 大池回漕部		
昌福丸	九月七日	橫濱行
忠淸丸	九月八日	大阪行
會寧丸	九月十四日	下關行
新義州丸	九月十三日	新義州行
京畿丸	九月七日	北鮮行
遞信丸	九月五日	浦潮行
咸鏡丸	九月六日	鬱陵島行
鎭城丸	九月六日	江原道行
浦河丸	九月五日	濟州島行
統營丸	九月四日	木浦行

●元山代理店 吉田運輸會社		
釜山丸	九月十一日	大阪行
會寧丸	九月十日	下關行
新鐵嶺丸	毎日	金剛山溫泉元山長箭線
濟州丸	九月五日	江原道行
咸南丸	九月七日	鬱陵行
平壤丸	九月三日	元淸直通行
咸鏡丸	九月五日	淸津行
會寧丸	九月三日	雄基行
鎭基丸	九月七日	浦潮行

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 本局 電話一三三三番
○釜山支店 佐藤町 電話四一二、四六四番
●元山支店 海岸通 電話一〇二番
●仁川出張所 海岸町 電話三五一番
●京城代理店 巡遊町 電話二一七〇番

李王職御用 模範全乳 總督府醫院御用
太正牧場 東亞牧場 （電話五二番）

通俗太閤記

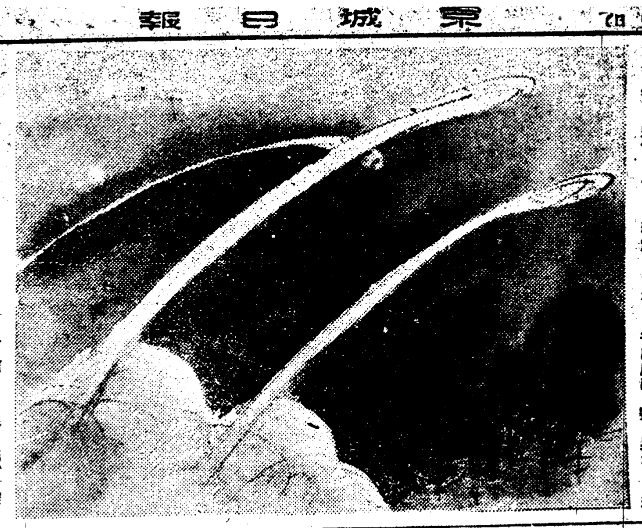
松林伯知講演
加藤由太郎速記

二百二十六回

早速木下藤吉郎へ対面すると藤『イヤ是は〳〵遠藤氏、何かとお世話[illegible]藤吉郎[illegible]に存じまする』喜『イヤ木下氏、明智の御勲功に就[illegible]んと存じて罷越した』[illegible]何処れとなくお骨折の段忝ない』喜『何う仕って、斯

お弁当代りに、間食に
○ラスク　半斤入一函三十五銭
東京名物　明治町木村屋(電本二八七〇)

くばかり厳重のお固め……』藤『されば遠藤氏、我君は僅に百五十余の御勢を以てお出で、何となく今晩は藤吉郎御勝が致す故要害を厳重に仕った、併し遠藤氏、イザと云ふ時には三千四千の兵を募る事は最と無造作、此方へお出で下さい、此方へ、此所に御覧に入れる』藤吉郎成著提院の裏手へ出ると、強て用意のしてある狼煙の



筒之れへ遠藤喜右衛門の見て居る前で口火を付けた、ドン〳〵ドンと中天に打揚がる狼煙、登り龍下り龍がシューッと閃くかと思ふとプー〳〵と鉦の音に連れて、此の辺隈の山々谷々にワーッといふ関の声が起る、其音は宛然大千世界も崩るゝかと思ふばかり、織田の威勢は潮の如く旗指物は林のやう』藤『遠藤氏、天下一統の功を奏さんといふ将軍家を勧めて都へ上せ、天下を静謐になさんといふ織田殿の御用意は総て大事の上にも大事を取る、中々吾君などを討たんとしても事の成るべきもので

木戸歯科醫院　京城永樂町二ノ三四

はない、イヤ討たんといふ者はござるまいが、是れだけの用意をしてみるといふのを御覧に入れて置く』遠藤喜右衛門舌を巻いて、此の藤吉郎といふ奴は非凡な奴、迚も信長を討つことは出来ないと、流石に喜右衛門も後悔をした、然し此方は和田伊賀守を以て佐々木六角入道承禎の意中を尋ねたが、彼は三好と謀叛者の噂にて新公方へ御協力申上げる志しは更にない、故で信長公は御安心召されて長政と評議の上、一度濃州の岐阜へ御帰陣をいたし、新公方家へ献々江州の佐々木を破り、其後上洛をいたすべき趣きを細やかに言上いたす、義昭公は誠に御満足、倘濃州へ参つて僅か五十日経たざる内に斯くの如き運びに至るとは夢のやうである、實に其方の骨折感じ申すと殊の外のお喜び、尚『夫れに就て其方へ頼み度存ずるは、予が朝倉家に居りし時、馳走掛りとして身近

江戸趣味　蒲焼　川長

う罷り出でたる明智十兵衛光秀と云へる者、彼は文武の両道に達したる者、近き内に當家に罷り出でるであらう、其節には重く用ひ呉れよ、予に忠義を盡し呉れたる者である』信『ハッ、其儀は必ず承知仕りました、尋ね参りなば重く用ひ遣はしまする』とお約束を申上た、時に十兵衛は越前朝倉を退身いたし扨て織田に近づくには誰を以て……と考へた、古参といふにはあらねども、當時木下藤吉郎は一城の主人となり古参の柴田、佐久間を凌ぐ勢ひ、織田家には非常なる勢力である、十兵衛は藤吉郎の許へ罷り越し、推挙の儀を申入れる、藤吉郎十兵衛に對面をいたして様子を窺ふと、成る程日本六十餘州を修業をいたし、諸國の弓矢の深浅、且政治の樞機、其答へ最と明かである、又武道に掛ても一廉嗜みのある様子、然し其人品言葉の様子を窺ふと、此者長く當家へ仕へさせんといたす時には、己れが器量に優じ、主君へ害を加へるものと云ふことは、此時藤吉郎早くも認めた、然し新公方家よりお頼みのあつたることは、藤吉郎豫て聞き及んで居る、此儘にして主君に言上もせず、排けると云ふも如何、其儘で早速信長公へ十兵衛の訪ね参りしことを言上する、新公方家より御依頼のあつた事故、一二の御仰せなく、直ちにお目通り仰せ付けられる、委性を尋ねると実は勝智の嫌疑云々であると云ふこと、新公方家へ忠義の志しがあるといふので直ちに先手の家臣をお抱け遊ばすことになり、主従の御約束をいたされました。

醫學と高週波電流

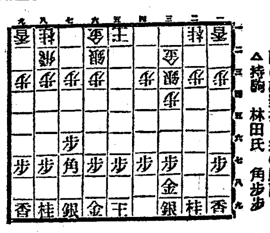
三浦博士が始めて東京齒科大學にヂアテルミーを輸入されて以來醫械の改良に連れて至る所大病院に設置され其功果と共に益々普及して殆と流行物の如き觀を呈するに至り遂には施術を誤り或は申し譯的に施術する者等出でし爲却て功果を疑はしむる者さへ出する樣に成りましたが一方施術法も非常に進んで驚くべき功果を現すもの多く機を見るに敏なる商人に依り擴器と稱する是に似て否なる數種の小器が出づるに至りました。
◎最もよい適應症は神經痛、脚氣リウマチス、氣管支炎、胃腸諸疾患慢性關節炎、睾丸炎、膀胱加答兒婦人病等ですから困つて居る方は我社の物理療法へ來られん事をお勸め致します。

電光化門四〇〇番内廿四

將棋新手合　(二)

於東京市淺草區新堀井町二
溝呂木將棋所

▲五段　飯塚勘一郎(東京)
平手先△四段　林田　竹松(大阪)
圖は前號指了迄の局面
△持駒　林田氏　角歩歩



▼將棋　解説　飯塚氏

△七八銀▲四一王△六八玉▲五三銀△七九玉▲三四歩△四八銀▲四二金△三六歩▲三三玉△四六歩▲五四銀△三七桂▲四三金△四七銀▲八四歩△五六銀▲二九飛(ニ)△四五歩(ホ)△一九飛

(以下次號)

溝呂木七段講評
▲(ニ)二九飛打ち少し早し八五歩と指し置く方末に至りて大によろし
△(ホ)四五歩は大に惡し二八角と打ち二敵飛と交換する策を採る方優れり

九月四日

舊曆七月二十四日
▲五黄▲甲劍無し▲火曜
▲庚申▲赤口▲成▲翼宿

▼五黄▲動き迷ひの生ずる日外に出て損内に守つて安全南と西が吉
▼六白▲目上の人に從つて存外の福運を授かる開業大吉坤と艮が吉
▼七赤▲月出度い事の續く日思ひ切つて進んで待人來る坤と艮が吉
▼八白▲何事も内輪に行つて利動いては概ね損を招く南と西乾が吉
▼九紫▲離別の日ではあるが調子に乘り過ぎると損する東と巽が吉
▼一白▲求職縁談金談商内其他大概は骨折り損に終る日乾と西が吉
▼二黒▲至つて幸運の日正しい業に努めて益々大利南と乾と西が吉
▼三碧▲外見はよくても内實は苦しい騙され易い日北と南と巽が吉
▼四緑▲矢鱈に進むと意外な失敗を招く辛抱が第一が北と南と東吉

百圓進呈

國家的試驗主義は治療界をし[illegible]主義は醫術[illegible]内臟病とし醫學上最も有効と確定し
歐米醫科大學
帝國醫科大學
病院等にて貴重なる事を保證せる貴重なる事を保證す新法の警告に進へる事を發見せる者は敎授料百圓進呈す
國あらゆる治療をなすも効なき患者は一度來訪あれ

りんばい毒病
請合藥
一瓶八円　半瓶四円　半三円
一瓶四円　半二円　半一円

關西發賣元
大阪市南區三休橋北詰
有田ドラッグ
電話船場　一二六一四番　二三四番

關東發賣元
東京日本橋區通四丁目
有田ドラッグ
電話本局　三三八四番　一〇七七番

請合藥に付き他の藥店に販賣を許さす

有田ドラッグ朝鮮及支那滿洲專賣所所在地

●朝鮮
京城南大門外
同黄金町電車通
同鍾路四
龍山漢江通兵營前
木浦榮町
鎭南浦三和町
咸興本町二
大田春日町一
全州高砂町
釜山辨天町
元山本町二
仁川宮町二
馬山郡町一
晋南生駒町
新義州常盤町
群山東榮町
平壤郵便本局前
大邱弓町
晋州大安洞
甘浦港
慶南統營面
光州本町
象二浦本町

●滿洲
安東縣四番通
大連岩代町
沙河口京町
奉天松島町
四平街北四條路
撫順高砂町
長春東一條通
哈爾賓傅家甸

●支那
營口永世街
北京前門外
上海瑪禮遜路
廣東大平路
漢口日本租界
天津北旭街
青島新市場通
濟南普利門外

にせドラッグあり有田ドラッグにて藥を[illegible]

魚釣具　投網
各種漁業用カスミ網
チエロ化粧料卸專門　卸商
京城永樂町二丁目
吉備商會
電話本局二二一四番
振替京城三三八番
投網四分目二尋半八間(一張)四拾五圓
同五分目二尋半岩間一張四拾五圓
前金送料五十錢代金引換九拾五錢
(以下略)

醫學博士　岡崎桂一郎先生創案
人體營養の泉
ヴイタミン
ABC含有
ウイタシユーム　新製
百瓦入二圓五十錢
半瓦入五圓
登山藥天師
藤田藥舖
電話長八一番

資本金參千萬圓
株式會社　朝鮮殖産銀行
京城府南大門通二丁目
農工業資金の貸付又は定期償還方法に依る資金の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候
電話長　二四〇四　二九〇五　六二一
振替貯金口座　京城二四一〇
光化門　二四九　三九〇番

支店及派出所
清津(北)、清津(南)、咸興(北)、咸興(南)、興南、元山、……[illegible]
預金の御取扱も致します
右の外内地、朝鮮、支那各地に御送金の御用は當行の「殖産送金」に御加入なさい。貯金一年御据置けになれば御便利なり

朝鮮信託
◎營業科目
● 營業案内進呈
株式會社
京城府明治町一ノ一　電話本局九五一番　二三一二番

弊店信託部ニ於テ左記業務取扱候
株式會社京城株式現物取引市場株式
同仁川米豆取引所株式新株
右株式ニ付キ
貸株　金融　何レモ御相談ニ可應候
日出株式店
京城府黄金町貳丁目貳拾貳番地
電話本局二五八六番
振替口座京城九九〇〇番

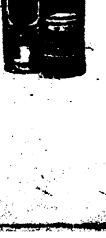
魔法瓶と水筒
京日特選　金星印魔法瓶
三合入　二圓二十錢
四合入　二圓三十錢
五合入　二圓六十錢
特製二合入八十七錢十四合入九十錢五合入一圓
箱代送料共
學生用水筒
ラシャ覆四合入　一圓四十錢
別珍覆二合入　一圓三十錢
別珍覆三合入　一圓四十錢
黒塗三合入四十五錢
箱代送料共
京城太平通り
合資會社　京日代理部
振替京城三〇〇番　電話光化門四六二〇番

奉天
ミヤコホテル

最上醤油
朝鮮仁川港
高杉醤油醸造場

赤玉ポートワイン

培はれては赤玉の　力強き　肉
のかゞやきとなり　香高き　心
のときめきとなる！　その甕き
翼の悦び　内に芽生へて　膚に
出でゝは君が笑ひの眸とはなる



MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual. Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.
Price ¥2.00

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

定價　壹圓金貳

滋養強壯料

本品は芳醇無比の天然産葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特種の操作を以て配合し、人造着色料を用ひず又割水等の増量行爲を加へず、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮せしめ、藥餌的滋養の粹を盡し、而も天然の佳香美味を具ふるものにして、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき優秀の滋養的飲料なり。

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、一般に貧血して居る人
一、榮養の不足なる人
一、顏の色蒼褪めて艶の無い人
一、生來虚弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬやうな虚弱い人
一、身體の瘦衰けて居る人
一、食餌の進まぬ人
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人
一、勉強又は勞働して疲れたる人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病即ち腺病質に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病等にて發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰痿や遺精など生殖器の神經衰弱に悩んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に煩はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黄病など血液の病に侵されて居る人

東京市日本橋區橫山町三丁目
振替東京七一〇番
丸見屋商店
電話浪花三〇四・八四〇〇・九四五〇・三〇〇番